

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	DIC(株)小牧工場第2一般倉庫	階数	地上2階
建設地	愛知県小牧市大字下末字流151-1、他17筆	構造	S, SRC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	4人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年10月25日
敷地面積	7,858 m ²	作成者	丸山 健太
建築面積	5,883 m ²	確認日	2021年11月5日
延床面積	10,924 m ²	確認者	細沢 貴史



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 2.2

★ ★ ★ ★ ★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★ ★ ★ ★ ★

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	63%
③上記+②以外の	63%
④上記+	63%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.4</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">64.4 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.7</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策			4.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.4	0.10
② 資源の有効活用			3.7
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.22
Q2-3	対応性・更新性	4.8	0.21
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19
③ 敷地内の緑化			2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17
			外構緑化:64.4%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 DIC(株)小牧工場第2一般倉庫

計画上の配慮事項	
総合	倉庫として空間のゆとりを持たせ、周辺に調和した建物としている。また、エネルギー使用量を抑え、設備更新性を考慮した計画としている。さらに、建築材料や敷地外環境への配慮も行っている。
Q1 室内環境	工場用途かつ居住エリアが無い建物の為、評価対象外。
Q2 サービス性能	階高3.9m以上、壁長さ比率0.06として空間のゆとりを持った建物としている。設備配管類は主に露出とし、更新性を高めている。
Q3 室外環境(敷地内)	周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。植栽や庇を設けることにより日陰の形成に努めている。高温排熱を伴う建築設備を設けていない。
LR1 エネルギー	建築物省エネ法の計算対象外。
LR2 資源・マテリアル	躯体材料以外においてリサイクル材を使用している。設備配管類を主に露出配管とすることで部材の再利用可能性向上に取り組んでいる。有害物質を含まない材料を使用している。発泡剤を用いた断熱材を使用していない。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率56%としている。燃焼機器を使用していない。駐輪場、駐車スペースを確保している。
その他	